

平成29年度 学校総合体育大会 大会要項

1. 主催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県学校体育協会
2. 後援 (公財)埼玉県体育協会 熊谷市教育委員会 東松山市教育委員会
3. 主管 埼玉県中学校体育連盟ソフトテニス専門部
4. 期日 平成29年 7月22日(土) 男女個人戦1日目(くまがやドーム16面)
7月23日(日) 男女団体戦1日目(くまがやドーム16面)
7月24日(月) 男女個人戦2日目(東松山市営岩鼻運動公園庭球場8面)
7月25日(火) 男女団体戦2日目(東松山市営岩鼻運動公園庭球場8面)
予備日 7月28日(金)・29日(土)(24日の予備日は28日)
5. 会場 熊谷スポーツ文化公園内「彩の国くまがやドーム多目的運動場」
東松山市営岩鼻運動公園庭球場
6. 時間 (1)個人・団体1日目 開場8:15 受付開始8:20 開会式8:45
(2)個人・団体2日目 開場8:15 受付開始8:20 開始式9:00
※個人・団体2日目は受付終了後、コートでの練習を行うことができます。
雨天判定 6:20(各地区の常任委員)
7. 試合 (1)個人戦
1日目 ◎トーナメントでベスト16まで選出する。
2日目 ◎トーナメントで決勝まで行う。
◎ベスト4に入ったペアは関東大会への出場決定、3・4位決定戦を行う。
◎ベスト8とベスト16に入ったペア(12ペア)で4ブロックに分かれリーグ戦を行う。試合順は下記の通りとする。各ブロック1位のペアで下記の通り、順位決めの試合を行い5～8位の順位を決定する。
※同校は同じブロックに入れない。
※当日試合をしたチームは、同じブロックには入れない。

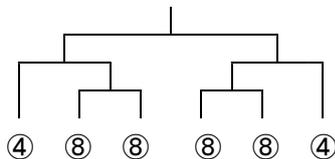
《関東大会出場決定リーグ及び5～8位決定戦》

A				B				C				D			
⑧	1	2	3	⑧	1	2	3	⑧	1	2	3	⑧	1	2	3
⑩				⑩				⑩				⑩			
⑫				⑫				⑫				⑫			

※試合順 第1試合(⑫-⑫) 第2試合(⑧-⑩対⑫敗者) 第3試合(⑧-⑩対⑫勝者)

(2) 団体戦 3ペア対抗トーナメント(4ペアエントリー)

- 1日目 ◎トーナメントでベスト8まで選出する。
- 2日目 ◎トーナメントで決勝まで行う。
◎決勝まで進出した2チームは関東大会への出場決定とする。
◎ベスト4とベスト8の6チームによる3・4位決定トーナメントを行い、3・4位の2チームが関東大会への出場権を得る。
◎このトーナメントの1回戦はベスト4と反対のブロックのベスト8同士の対戦となり、抽選は行わない。
◎これで勝ち上がった2チームが3位表彰となる。
◎3・4位(通過順位)決定戦も行う。



8. 組み合わせ (1)個人戦は、常任委員一任、代表者会議(7月11日)の3日後ホームページで発表する。

<http://www.saitama-chuu-softtennis.org/>

※なお氏名、学校名等の文字の訂正は下記のところへFAXで連絡してください。

蓮田市立蓮田南中学校 松永秀則 FAX 048-769-2027

- (2)団体戦は、常任委員会でベスト8までシードし、他は抽選とする。但し、同一地区から二校以上出場している場合は、同一ブロックに入らないよう配慮する。

9. 試合ボール 使用球は公認球(白)を使用する。
※関東大会に準じる

10. その他 (1)開会式前、会場コートでの練習は一切できません。
また、開場時刻まで、会場に入るための整列待機にご協力いただきます。
(2)駐車場などの会場周辺でのボールを使用しての練習は一切できません。
(3)くまがやドームは、役員・補助員の生徒以外の方は、開場前に入場しないでください。
遅れる時は大会本部の役員まで電話連絡を入れてください。
(4)くまがやドームの入場の際には、危険防止の為、到着した順に整列し、役員の指示に従って入場してください。
(5)熱中症対策および会場の収容人数を考慮し、①22日(土)個人戦1日目は「大型バス禁止・中型バスは1台まで」、②23日(日)団体戦1日目は「大きさにかかわらず、バスは1台まで」とします。厳守をお願いいたします。

専門委員長	金井讓二	さいたま市立宮原中学校	学校TEL	048-663-0961
副委員長	鈴木 顕	秩父市立秩父第二中学校	学校TEL	0494-22-0646
副委員長	山田利成	所沢市立向陽中学校	学校TEL	04-2923-7201

☆大会留意事項☆

- 大会当日の受付は、必ず監督が行う。
(外部コーチのある場合は、大会参加申し込み書に明記する。)
- 選手変更は、職印のある書類で行う。
(選手変更・監督変更・監督追加・外部指導者変更及び登録届はHPにアップしてあるものをダウンロードしてご利用いただくと便利です。)
○個人戦・団体戦共に書式は特にありません。
○当日の朝、発熱等の理由で選手変更をする場合は、とりあえず職印の無いものを提出し、後日速やかに職印のあるものを提出する。
- 開会式に参加しない選手は、原則として出場を認めない。
○交通事情により遅れそうな場合は、緊急連絡先に必ず電話連絡する。
- 服装は、ユニホーム上下、シューズ、ソックス、帽子、ハチマキ等、関東大会の出場規定に準ずる。
○ソックスの長さはくるぶしより上で、ハイソックスは禁止とする。
シャツの裾は必ずパンツ・スカートの中に入れる。
○選手の磁気ネックレスなど、アクセサリとみなせるものは着用・使用を禁止する。
(医療上必要な場合は、当日書類で届け出ること)
- 県名、学校名、個人名の入ったゼッケン(3段)を必ず背中につけること。
無い場合は、原則として出場を認めない。
- ベンチコーチは、奇数ゲームの後と最終ゲームの前に1分以内で行うことができる。
○この場合、前のゲームのボールがデッドになってから次のゲームが始まるまでの1分である。
○その他の場面などで、ブロックサインによる指示は厳禁とする。
- ボールは、選手が拾い、拾った選手が相手に渡す。
- 監督は、必ずテニスシューズを履き、上着も襟付きのシャツを着用する。(Tシャツは不可)
- 団体戦のベンチに入る監督および運動部活動支援員(自チームNoのもの)・外部指導者(通しNoのもの)は、受付時にIDカードを受け取り、会場内では常に着用すること。
- 個人戦のベンチに入る監督として、2ペア以上の出場に対応するために教員の人数を追加する場合は、「追加監督届け」を当日の受付に提出すること。なお、必ずIDカードを着用すること。
- 選手・監督・応援者とも試合中相手をやじることは厳禁とする。
○団体戦のベンチにおいて、アップのためにベンチを離れて立っている選手は応援に参加してはならない。立って一斉応援に参加していたら、1回目はアンパイヤーからの注意、2回目はイエローカードの提示で警告となる。
- 選手、応援者等のマナー・生活面については、その学校の教師が責任を持って指導すること。
- 進行の都合上、団体戦の一部(初戦からの場合も含む)が2面展開となることがある。
- ラケットのストリング(ガット)は単一色とする。(スパイラル・ハイブリッドは不可)
- 日傘は白、グレー、シルバーその他プレーに支障をきたさず色は使用しない。
- その他、本部の指示に従うこと。

☆審判について☆

- 個人戦について
○各コートでの第1試合の審判は、第3試合以降の試合の監督(顧問教員)に依頼する。
大会受付の時に確認する。
○監督(顧問教員)は、必ず審判をできるようにしておく。監督(顧問教員)が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。
その際は、**代表者会議当日**または大会当日に必ず本部に申し出ること。
○1校で2ペア以上が大会に出場する場合は、監督ができるよう配慮する。
○第2試合以降の審判は、敗者ペアの審判でベスト16決めまで行う。
2日目の初戦(ベスト8決めの第一試合)は**審判役員・補助員生徒の**審判で行う。
○準々決勝は、ジュニア審判に審判させることなく敗者監督審判で行うものとし、入れない場合は常任委員が替わって行う。
○準決勝、決勝は、常任委員が審判を行う。
○関東大会の出場チームを決めるための試合の審判は、当日本部より指示する。
- 団体戦について
○監督(顧問教員)審判で行う。副審は生徒で行う。
○監督(顧問教員)は、必ず審判をできるようにしておく。監督(顧問教員)が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。
その際は、**代表者会議当日**または大会当日に必ず本部に申し出ること。
○準決勝の正審は常任委員、副審は敗者監督(ジュニア審判は審判しない)で行うものとし、入れない場合は常任委員が替わって行う。
○決勝は、正審、副審とも常任委員が行う。
○関東大会の出場チームを決めるための試合の審判は、当日本部より指示する。
- 個人戦・団体戦共に、出場選手が「ジュニア審判」を取得している場合は、監督審判を免除するので、**出場選手が**審判を行って下さい。その際は、必ずワッペンを左胸に付けること。
- 個人戦・団体戦共に、審判台にストップウォッチ・電子ホイッスル・イエローカードを置くので必ず使用すること。
○45秒で1回目のホイッスルを鳴らし、1分で2回目のホイッスルを鳴らす。
○2回目のホイッスルを鳴らしても選手がコートに入らない場合は、イエローカードを出す。

☆ゼッケンについて☆

背中のゼッケンを各校で別な布などで作成し、背中に四隅を止めること。すでにプリントされている文字は隠すように止め付けるものとする。学校名には「中」の文字をつけることを原則とする。

- ① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都県名、姓、学校名を記述する。都県名の「都県」はつけないものとする。
- ② ゼッケンの文字は特太ゴシックが望ましい。「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③ 都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために工夫をしてもよい。都県ごとに望ましい表記をする。
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。
- ⑤ 中学校名が、第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、《例2》のように学校所在地を付記してもよい。

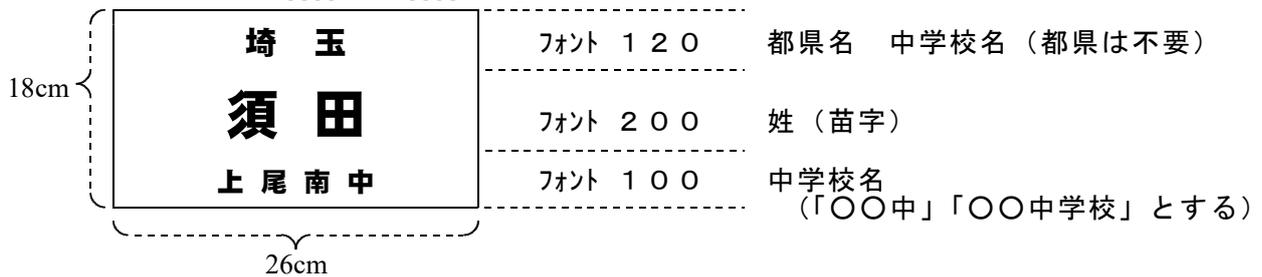
【選手のゼッケン】

B5版 白の台布に黒文字で記入（ゴシック体・太文字が望ましい）

《例1》 埼玉県 さいたま市立宮原中学校 金井 譲二



《例2》 埼玉県 上尾市立南中学校 須田 治茂



※文字数が多い場合は、見やすい範囲でポイント数を調整してください。

☆緊急対応について☆

ホームページ <http://www.saitama-chuu-softtennis.org/> に掲載されている「危機対応マニュアル（中体連ソフトテニス専門部用）」をご覧ください。